

知性・情操・健康・友愛の調和のとれた発達を目指す

No. 9 令和8年1月7日発行

田辺中だより

京田辺市立田辺中学校

さらなる高みを目指して ～自主・自立・創造～

京田辺市興戸北鉾立 21 番地 TEL:0774-62-0021 FAX:0774-62-5099

ホームページ URL 【<https://www.kyotanabe.ed.jp/nc3/tanabe-jh/>】



多様性の時代を生きる

通級指導教室 下川正美

新年あけましておめでとうございます。いよいよ3学期が始まりました。

「多様性の時代」に私たちは生きています。日本で「多様性(ダイバーシティ)」という概念が広まり始めたのは、1985年の「男女雇用機会均等法」の施行が大きなきっかけだったと言われています。多様性の中で生きるということは、性別、年齢、国籍、文化、価値観など、異なる特性や背景を持つ人々が互いを認め合い、共に生きることを指します。それには、様々な人たちが単に一緒にいるだけではなく、それぞれの違いを受け入れ、お互いを認め合うことが前提となってきます。社会生活においても、多様性を認め合い、お互いを大切にしていこうという主旨で、ユニバーサルデザインや合理的配慮が行われています。

この多様性の時代に生きる子どもたちには何が必要なのでしょう。

まず1つ目は、「自分自身を知る」ことだと思います。例えば自分の得意なことは何か、苦手なことは何かを知ることは社会生活を送る上でとても大切です。どんな人も完全ではありません。みんな多かれ少なかれ「苦手なこと」や「弱さ」を持っています。自分の苦手なことや弱さを認めるのはなかなか難しいかもしれませんが、苦手なことがわかるからこそ、そのこととどのように付き合っていけばよいかを考えることができます。例えば私自身、歳を重ねると近くのものが見えにくくなり、小さい文字が見えにくく読めないことがあります。そのような時には、文字を拡大して見るなどして対応します。自分は小さい文字が読みにくいということを認め、理解したからこそその対処です。苦手なことと同様、自分の得意なことも見えにくいものです。得意とはどのようなことでしょうか。時間を忘れて没頭できることなどは得意なことと考えることができます。また、人に褒められたことなども自分の得意なこととしてカウントできる特性でしょう。

2つ目は、「助けを求める」ことができるようになることです。ビジネスの世界では「ヘルプシーキング」や「受援力」とも言われています。一人で抱え込まずに他者に支援を求めるスキルは、生きる上でもとても大切です。例えば、仕事で困ったときには抱え込まずに、同僚や上司に助けを求めることにより、問題を早く解決することが可能になります。そして、助けてもらった時には感謝の気持ちを伝え、そのことによってよりよい人間関係を築くこともできます。一人で抱え込まずに頼ることは、安心感を生み出し、自己成長にもつながります。子どもたちにも、困った時には周りに「助けて」が言えるように成長してほしいものです。



3つ目は、「自分自身を大切にすること」です。これは土台ともなることなので、ある意味真っ先に必要なことかもしれません。周りを見渡すと、人にはできて自分ができない部分が見え、落ち込んでしまうことは多々あります。自我を形成している思春期の子どもたちならなおさらです。

自分を大切にすることは、「ありのままの自分を受け入れる」ということに繋がっているような気がします。人に見せている部分も、人に知られたくない心の内も、自慢できる部分も、苦手で困っていることも全部含めて自分であり、ありのままの自分です。その自分自身を認め、受け入れて(言い方は適切かわかりませんが)許してあげることが、自分を大切にすることではないでしょうか。

子どもたちは、学級や部活動などで、自分とは違ったタイプの友だちと関わることで、協力したり励まし合ったり、時には意見に違いを感じたりしながら、互いに助け合う関わりを学んでいます。そしてこれからは自分と違った考え方、文化、価値観の違う人たちと出会い、共に学校や職場、地域で社会生活を送っていくことになります。他者の視点からすると、自分自身も個性豊かな一人であり、多様な個人なのです。多様であるからこそ、新しい発見があり世界が広がるのです。したがって、自分と周りの人たちの存在はかけがえのないもので、尊い存在なのです。

前述の3つは、なかなか大変なことです。簡単な方法ありません。大人である私たちも長い年月をかけ、様々な経験を通して身に付けてきたことでもあります。いや今もその作業を続けています。子どもたちにも、「自分自身を知る」「助けを求める」「自分自身を大切にすること」に取り組んでほしいと思います。

この多様性の時代、親や教師は「あなたはあなたであればいい。存在そのものに価値がある。」というメッセージを送りつつ子どもたちがその3つに取り組めるように励まし見守る存在でありたいものです。

今後の予定

1月 7日 (水)	始業式 身体測定 PTA 本部役員選挙告示
1月 8日 (木)	給食開始 PTA 本部運営委員会
1月 14日 (水)	PTA 登校指導
1月 16日 (金)	防災教育 PTA 本部役員選挙投票
1月 19日 (月)	一斉委員会
1月 20日 (火)	3年生 学年末テスト
1月 22日 (木)	PTA 選挙管理委員会開票
1月 26日 (月)	PTA 地域委員・選挙管理委員会選挙告示
1月 30日 (金)	PTA 地域委員・選挙管理委員選挙投票

第34回京田辺市子どもの主張大会

11月30日(日)京田辺市中央公民館で京田辺市子どもの主張大会が行われ、本校2年生の野和奏さんが本校でのSELF学習(総合的な学習の時間)で得たことをもとに「SELFで見つける自分の答え」と題して主張しました。『現代社会を生き抜くためには、深く考える力が必要です。AIが提供する情報だけを鵜呑みにせず、「なぜ?なぜ?」を繰り返す思考法で物事の真の原因を探ることで、思考力と問題解決力の質が向上します。こうしたことを踏まえてAI等の技術を使いこなし、主体的に探究する力を身につけることが必要です』と発表していました。

大会当日の司会進行を本校2年生の原本陽毬さんと松宮音紅さんが務め、子どもスタッフとして3年生の武市絆さんが務めました



田辺中生頑張っています！！

※○の数字は学年を表しています。

2 学期終業式表彰

令和 7 年度山城地方中学校体育大会

駅伝競走 女子の部 第 5 位
2 区 区間賞 第 2 位 神品 芽衣②(7 分 39 秒)
4 区 区間賞 第 2 位 岸本 愛理②(7 分 34 秒)←区間新記録

令和 7 年度山城地方新人剣道練習大会

女子団体の部 第 3 位

令和 7 年度山城中学生ソフトテニス選抜 1 年生大会

女子個人の部 第 3 位 櫻井 楓香①・橋本 希々嘉①ペア

第 11 回オータムカップ陸上競技大会

女子 4 × 100 R 第 2 位 岡本 詩卯③、北緒 一葉②、奥村 結愛②、安岡 陽葵③(50 秒 20)
女子 3 年 100m 第 1 位 安岡 陽葵③(12 秒 60)
第 3 位 岡本 詩卯③(12 秒 84)
女子 200m 第 5 位 北緒 一葉②(27 秒 64)
女子 800m 第 3 位 神品 芽衣②(2 分 22 秒 63)
女子 1500m 第 5 位 西尾 胡桃②(5 分 09 秒 48)

令和 7 年度八幡市中学校市内大会(バドミントン)

男子シングルス A 級 第 2 位 赤司 禄①、第 3 位 遠藤 悠人①
男子シングルス B 級 第 2 位 朝田 凌崇①
男子ダブルス 第 3 位 尾形 柊哉②・高山 琉羽②ペア
第 3 位 伊藤 彰吾①・下川 貴久①ペア
女子シングルス A 級 第 3 位 野秋 和奏②、今村 紗月①
女子ダブルス A 級 第 2 位 仁田山 衣央②・和高 咲希②ペア
第 3 位 清水 心優①・野口 新心②ペア
女子ダブルス B 級 第 3 位 中川 陽央①・福村 佳菜①ペア

令和 7 年度京田辺市教育委員会表彰

女子ハンドボール部

京都府スポーツ賞未来くん賞

女子ハンドボール部

令和 7 年度京田辺市明るい選挙啓発ポスターコンクール

入選 加田野 優②

第 75 回社会を明るくする運動に於ける作文コンテスト

綴喜地区優秀作品賞 小西 歩美③

令和 7 年度中学生の「税についての作文」

京田辺市長賞 野秋 和奏②
宇治納税貯蓄組合連合会会長賞 武市 絆③

第 15 回自転車交通安全 CM コンテスト

中学生部門 キョウテク特別賞 岡田 杏②、中村 佐菜②、堀 優那②

京都新聞小・中学生新聞コンクール 2025

京都新聞賞 小坂 芹迦③

優秀賞 藤林 由衣③

佳作 大石 莉央③、上田 愛果③、中川 友陽③、福田 優美③、野村 穂乃花③

第 12 回小論文コンクール

文集作品の部 優秀賞

第 78 回京都府アンサンブルコンテスト

木管 3 重奏 金賞 牧 莉暖①、中村梨詩②、内田航聖②

第 68 回 J A 共済京都府小・中学生書道コンクール

半紙の部 K B S 京都賞 海老澤 遥①

銅賞 津野 倫花②

佳作 山口 千尋③

条幅の部 金賞 中井 健太③、金子 遥海①

第 93 回全国書画展覧会書の部

筆都大賞 北村 梨愛②

銀賞 西尾 胡桃②

毎日紙上書道展

特別優秀賞 北村 梨愛②

第 41 回高円宮杯日本武道館書写書道大展開会毛筆の部

日本武道館会長賞 北村 梨愛②

宮地嶽第 58 回光の道全国競書大会

宮地嶽神社宮司賞 北村 梨愛②

第 49 回全国学生書写書道展

記念特別大賞 北村 梨愛②